

県民の皆さまへのメッセージ

<全国、県内の感染状況>

- 全国的に感染は再拡大しており、今月10日には政府のコロナ分科会の尾身会長が、「地域でスピード差はあるけれども、新しい波に入りつつある」との認識を示されました。
また、第8波に入ったと表明される都道府県も増えてきています。
- 県内の感染状況は、10月は下げ止まりの傾向が続いていましたが、11月に入り感染は増加傾向に転じています。
この1週間の新規感染者を先週と比べると、前週比で1.4倍程度に急増している状況です。
- こうした状況を見ると、本県も感染第8波の入り口にさしかかったものと考えています。

<県内の感染状況、対応ステージについて>

- 今回、国の分科会で新しい指針が示されました。
これに応じて見直しを行った「県の対応の目安」に沿って判断すると、本日の段階では、「病床占有率」、「70歳以上の新規感染者数」は、いずれもぎりぎりではありますが、「注意」ステージの範囲内にとどまっています。
- そのため、本日の段階では、「注意」ステージを維持しますが、全国状況や本県のここ1週間から2週間の状況を見ると、近日中にステージが引き上げとなる可能性は、かなり高いと思わなければなりません。
- したがって、県民の皆さんには、これまで以上に感染対策に注意いただくとともに、次の点についてお願いします。

発熱外来のひっ迫回避に向けたお願い

<検査キット等の購入について>

- 今後、急な感染拡大等により、医療機関を速やかに受診できない場合も考えられます。
- 現在は、新型コロナの検査キットも非常に入手しやすくなっていますので、特に若い方々については、症状が軽い場合も多いため、できればあらかじめ検査キットや解熱鎮痛薬を購入し、自己検査やセルフケアの準備を進めることを推奨させていただきます。

<無料検査の活用について>

- また、県が設置している検査会場や薬局などでの無料検査は、12月末まで延長することとしましたので、無症状で感染に不安を感じる方については、県の行っている無料検査を積極的に活用いただき、医療機関に過大な負担とならないよう、ご協力をお願いします。

感染拡大防止に関するお願い

<ワクチン接種について>

- 感染を食い止め、重症化させないために、ワクチン接種は極めて重要な対策になります。
- 現在では、オミクロン株という変異株に対応した新しいワクチンが開発され接種も進んでいます。
この新しいワクチンは、オミクロン株だけでなく、今後発生する変異株に対しても有効性が高いとされていますので、積極的に接種していただきますようお願いいたします。

<季節性インフルエンザの予防について>

- 今後は、インフルエンザも流行しやすい時期に入りますので、新型コロナウイルスとの同時流行も懸念されます。
- 特に、高齢者や基礎疾患がある方々は、是非ともインフルエンザのワクチンも積極的に接種していただくようお願いいたします。

<最後に/基本的な感染防止対策の徹底について>

- 非常に感染力が強いコロナウイルスや、インフルエンザウイルスについては、マスク、手洗い、三密回避といった、皆さんの身近なところで防御するための基本的な感染防止対策が重要です。

また、これから寒い時期になりますので、部屋などを閉めきる場合も多くなり、換気をつい怠ってしまうこともあると思いますが、エアロゾル感染などのリスクもありますので、定期的な換気の励行についても、よろしくをお願いします。

- こうした対策は、新型コロナウイルスだけではなく、季節性のインフルエンザにも有効になりますので、基本的な対策を徹底していただくことについて、改めてご協力をお願いします。

令和4年11月17日

高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長
(知事) 濱田省司